

古堅南小学校校舎改築基本計画策定委託業務

# 基本計画報告書

平成 30 年度  
読谷村教育委員会

0 1	<b>はじめに</b>		
	1. はじめに		
0 2	2. これまでの経緯とスケジュール		
0 3	3. 基本計画業務フロー		
0 4	<b>条件整理</b>		
	1. 上位関連計画・指針		
	(1) 文部科学省		
	(2) 沖縄県		
	(3) 読谷村		
0 5	2. 読谷村の基礎データ		
	(1) 位置		
	(2) 気象条件		
0 6	(3) 土地利用計画		
0 7	(4) 土地利用法規制現況		
0 8 - 1 1	(5) 人口及び小学校の児童数の推移		
1 2 - 1 3	3. 本計画地の現況及び基礎データ		
	(1) インフラ整備状況（電気・給水・汚水・雨水排水）		
1 4 - 1 5	(2) 動線状況		
1 6	(3) 用途地域		
1 7 - 1 9	(4) 既設建築物現況調査		
2 0	(5) 読谷村防災マップでの位置づけ		
2 1 - 2 4	4. 法的条件の整理		
2 5	<b>関係者ヒアリング</b>		
	1. 小学校職員ヒアリング		
	2. 関係各課ヒアリング		
2 6 - 2 7	3. 地域懇談会		
	(1) 第一回地域懇談会	～ワークショップ～	平成 30 年 12 月 16 日
2 8	(2) 第二回地域懇談会	～新設校視察見学～	平成 31 年 2 月 21 日
	(3) 第三回地域懇談会	～ブロックプラン～	平成 31 年 4 月 24 日
2 9	(4) 第四回地域懇談会	～ブロックプラン～	令和 元年 5 月 30 日
	(5) 第五回地域懇談会	～基本計画報告会～	令和 元年 6 月 20 日

3 0	<b>基本方針</b>
	<b>基本方針</b>
	(1) 特色ある学校づくり、地域連携、コミュニティスクールについて
3 1	(2) 正門及び、進入経路整備の検討、防犯、事故防止について
3 2	(3) ハイビスカス通りの活用について
3 3	(4) 人口増加への対応について
	(5) エコスクールの導入について
3 4	(6) 災害時の避難場所、防災拠点としての位置づけについて
	(7) 新世代型学習空間、教育情報化への対応について
3 5	(8) オープンスペース（多目的スペース）とクラスルームについて
3 6	(9) バリアフリー、ユニバーサルデザイン、LGBTQ 等について
3 7	(10) 特別支援教室について
3 8	(11) 学校のトイレについて
3 9	(12) 景観・環境（外観・ランドスケープ）について
	(13) 粉塵対策について
4 0	(14) プールの配置について
4 1	(15) その他の事項について
4 2	<b>基本計画</b>
	<b>1. 施設配置計画－1</b>
4 3－5 2	(1) 配置ブロックプランA・B・C・D・E
5 3－5 4	(2) 工事工程図
5 5－5 7	(3) 一時比較
5 8－6 2	<b>2. 施設配置計画－2</b>
	(1) 配置ブロックプラン（改良案）
6 3－6 5	(2) 二次比較
6 6	<b>3. 今後の課題</b>
	(1) 事業計画の周知、合意形成
	(2) コスト縮減対策の検討
	(3) 実施設計での詳細の検討
	<b>資料編</b>
	<b>1. 参考図面</b>
	<b>2. 概算事業費</b>
	<b>3. 概略工程表</b>
	<b>4. ご意見、ご要望への回答</b>

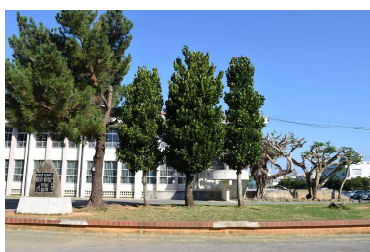
## はじめに

### 1. はじめに

古堅南小学校は古堅小学校から分離し、読谷村内5番目の小学校として1980年(昭和55)に開校しました。広大な敷地内には数多くの草木が植えられ、木々の木陰を子どもたちが駆け回る、緑豊かな学校です。

古堅南小学校区である村南部地区では、現在土地区画整理事業が行われており、都市基盤の向上と共に、人口増加も著しい地域となっています。転入者も多く、今後は地域コミュニティの形成など、人の集まる場所づくりも学校施設の重要な課題となっています。

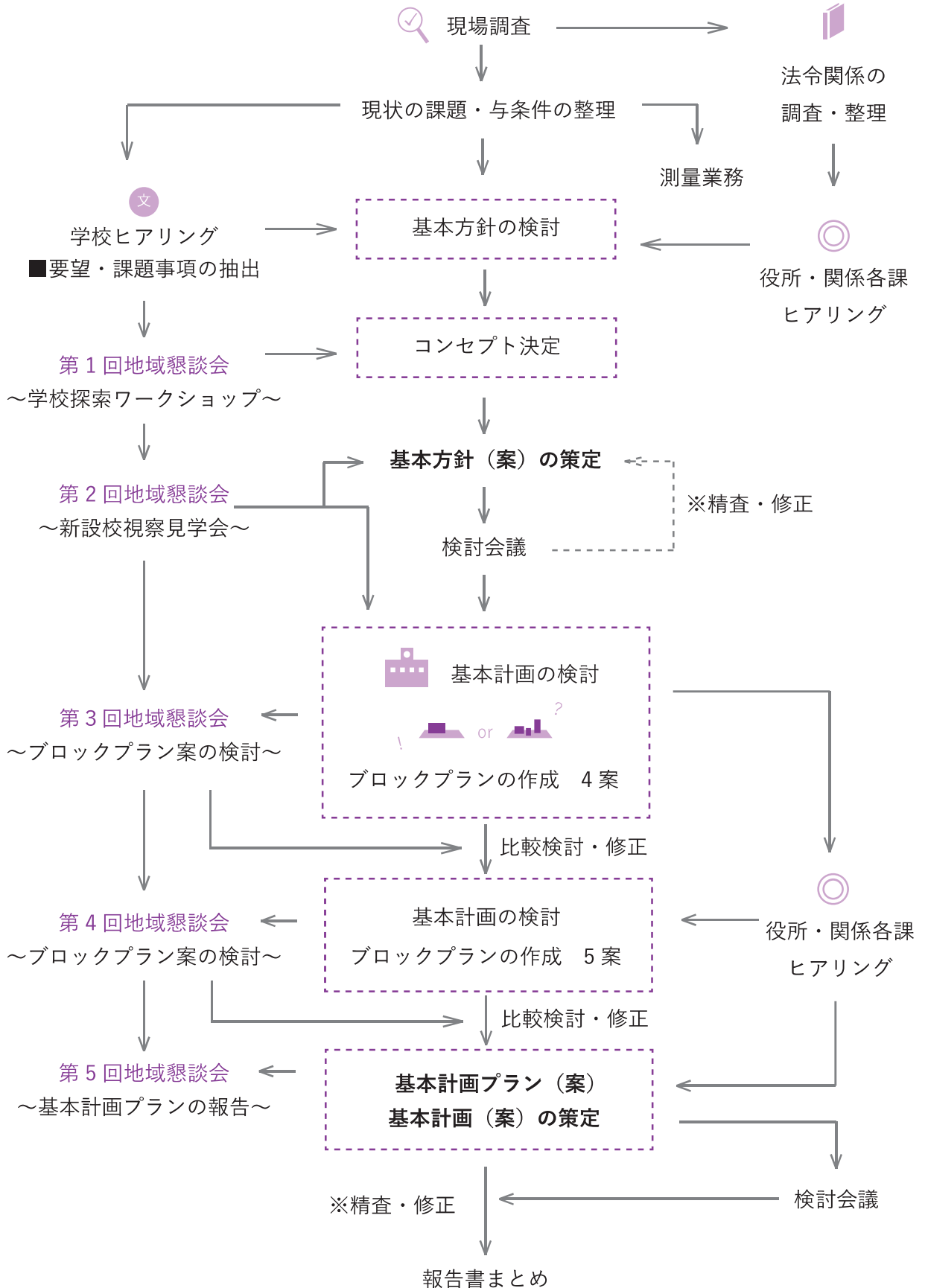
本業務では、これらの地域連携や学校の特色である自然豊かな環境を活かした学校づくりのための基本的な考え方について整理を行います。



## 2. これまでの経緯とスケジュール

平成 29 年度 9 月～ 3 月	●	<b>耐力度調査（4 小学校）</b> <b>小学校校舎改築等準備計画</b> 村内小学校のうち竣工から 35 年以上が経過している 4 小学校（渡慶次小、読谷小、古堅小、古堅南小）の改築に向けて、耐力度調査、特定建築物定期調査の評価、補助事業実施状況や児童数推計など、諸条件を整理・分析し、改築実施の優先順位の検討を行い、古堅南小学校を最優先と決定しました。
平成 30 年 10 月～ 令和元年 6 月	●	<b>古堅南小学校</b> <b>校舎改築基本計画策定業務に着手（本業務）</b>
平成 30 年 12 月 16 日 第 1 回地域懇談会	●	<b>学校探索ワークショップ 参加者 26 名</b> 意見・要望を出し合い、新しい学校づくりのコンセプトを決定しました。
平成 31 年 2 月 21 日 第 2 回地域懇談会	●	<b>新設校視察見学 参加者 15 名</b> 沖縄市立高原小学校、北谷町立北谷第二小学校の視察見学を行いました。
平成 31 年 4 月 24 日 第 3 回地域懇談会	●	<b>意見交換会 参加者 13 名</b> 地域、学校職員を交えた意見交換会を開催しました。
令和元年 5 月 30 日 第 4 回地域懇談会	●	<b>意見交換会 参加者 20 名</b> 地域、学校職員を交えた意見交換会を開催しました。
令和元年 6 月 20 日 第 5 回地域懇談会	●	<b>意見交換会 参加者 16 名</b> 地域、学校職員を交えた基本計画の報告会を開催しました。
令和元年 7 月～ 3 月 （令和元年度）	○	<b>合意形成期間</b>
令和 2 年度	○	<b>校舎改築基本・実施設計</b>
令和 3 年～令和 4 年度	○	<b>改築工事</b>
令和 5 年度	○	<b>新校舎供用開始</b>

### 3. 基本計画業務フロー



## 条件整理

### 1. 上位関連計画・指針

#### (1) 文部科学省

- ・「小学校施設整備指針」 平成 31 年 3 月
- ・「学校施設バリアフリー化推進指針」 平成 16 年 3 月
- ・「東日本大震災の被害を踏まえた学校施設の整備について」 平成 23 年 7 月
- ・「これからの小・中学校施設」 平成 22 年 6 月
- ・新たな学校施設づくりのアイデア集 平成 22 年 1 月
- ・学校施設における事故防止の留意点について 平成 21 年 3 月
- ・エコスクール 環境を考慮した学校づくりガイドブック  
(文部科学省・農林水産省・国土交通省・環境省)
- ・まち・ひと・思いをつなぐ学校施設 地域に開かれた学校づくりと居住環境整備に関する調査研究報告 (文部科学省・国土交通省・厚生労働省) 平成 14 年 3 月
- ・地域に開かれた安心・安全な学校づくりガイドブック  
(文部科学省・警察庁・厚生労働省・国土交通省)
- ・災害に強い学校施設の在り方について～津波対策及び避難所としての防災機能の強化～

#### (2) 沖縄県

- ・「沖縄 21 世紀ビジョン基本計画【改定計画】」 平成 29 年 5 月
- ・「沖縄県教育振興基本計画 ～沖縄の未来を拓く人づくり～」 平成 29 年
- ・「沖縄県教育情報化基本計画・推進計画」 平成 29 年 6 月

#### (3) 読谷村

- ・読谷村ゆたさむらビジョン -いちゅいゆんたんざー 平成 30 年 6 月

## 2. 読谷村の基礎データ

### (1) 位置

読谷村は、沖縄本島の中部、西海岸に位置し、東シナ海にカギ状に突き出た半島で人口4万人余り(2019年4月)の日本一人口の多い村です。

東には、緑濃い山並み、西は東シナ海に面し、南は「比謝川」を境とし、北は景勝の地「残波岬」に囲まれた、美しい自然と豊かな伝統文化に育まれたところです。



資料：読谷村 HP

### (2) 気象条件

平成29年度の沖縄県の平均気温は23.6℃であり、過去の数値をみても概ね23℃～24℃となっています。降雨量の総量は1907.0mm、日最大量は206.5mmとなっています。

			平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
気温 (℃)	最高気温		33.3	34.8	33.9	33.8	33.9	35.1
	最低気温		11.6	10.3	10.6	9.6	6.1	10.7
	平均		23.0	23.3	23.1	23.6	24.1	23.6
風速 (m/s)	最大	風速	41.1	22.0	33.1	27.0	20.7	22.4
		風向	西北西	東	南東	東	南東	西北西
	最大瞬間	風速	61.2	33.6	50.2	41.2	33.6	37.6
		風向	西北西	東	南南東	南東	南東	北東
	平均		5.5	5.3	5.3	5.2	5.1	5.0
降水量 (mm)	総量		2733.0	2071.0	2584.5	1425.0	2368.0	1907.0
	最大日量		174.0	204.0	251.5	157.5	137.5	206.5

那覇－緯度：北緯26度12.4分 経度：127度41.3分の観測地

資料：気象庁

また、30年間の日照時間を見ると、7月と8月においては200時間を超え、それ以外の月においては100時間前後となっています。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
日照時間	94.2	87.1	108.3	123.8	145.8	163.6	238.8	215.0	188.9	169.6	123.0	115.6

日照時間は過去30年間の平均を示す

資料：気象庁



### (3) 土地利用計画

計画地である読谷村南部地区における土地利用現況は主に住宅地域が占めており、次いで畑などの利用がみられます。この他、国道 58 号線、県道 16 号線（計画地前面道路）沿道に商業用地が見られます。

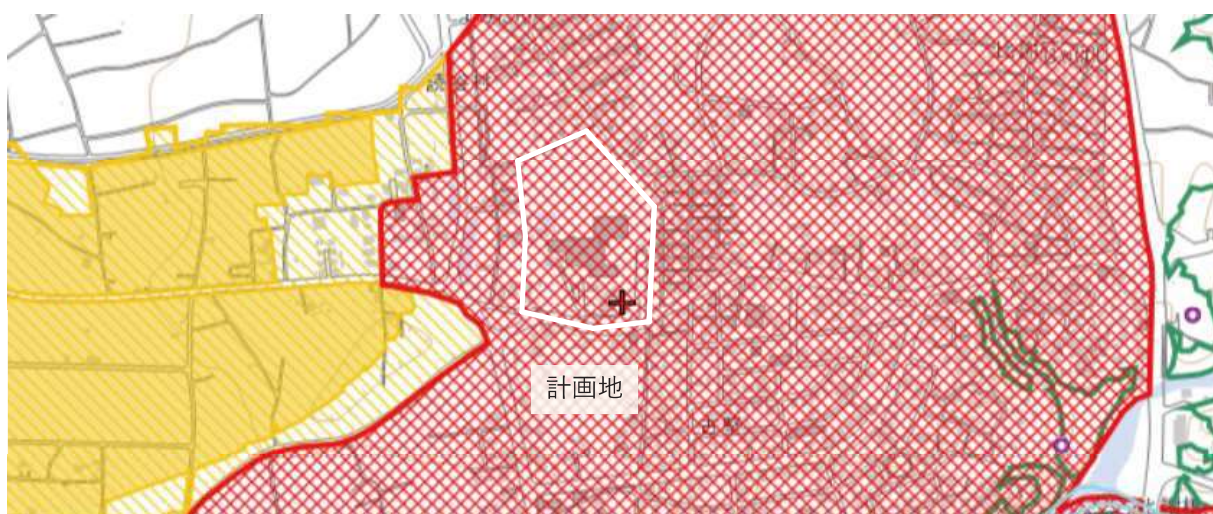
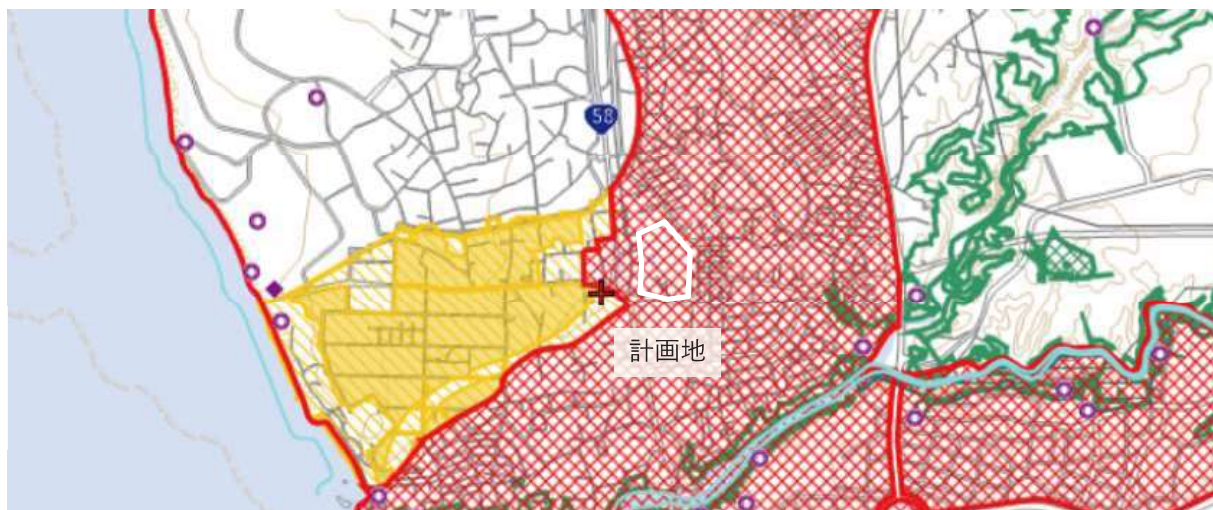


凡 例	都市集落	農地	林地等
	住宅地域	田	森林
	商業業務地区	サトウキビ畑	その他林地
	工業地区	パイナップル畑	野草地
	公共地区	その他畑	裸地
	公園緑地	牧場牧草地	
	運動競技施設	畜舎温室	
	運輸供給施設		
	防衛施設		
	空地等		










資料：沖縄県地図情報システム

#### (4) 土地利用法規制現況

計画地は都市計画区域に指定されています。また、読谷村のその他の土地利用法規制現況については下記の図表に示す通りとなっています。



#### 凡 例

- |  |  |
|--|--|
|  都市計画区域               |  農業振興地域、農用地区域 |
|  市街化区域                |  森林地域         |
|  市街化調整区域              |  自然公園地域、特別地域  |
|  用途地域（線引き及び未線引都市計画区域） |  自然環境保全地域     |
|  |  埋蔵文化財包蔵地     |

(5) 人口及び小学校の児童数の推移

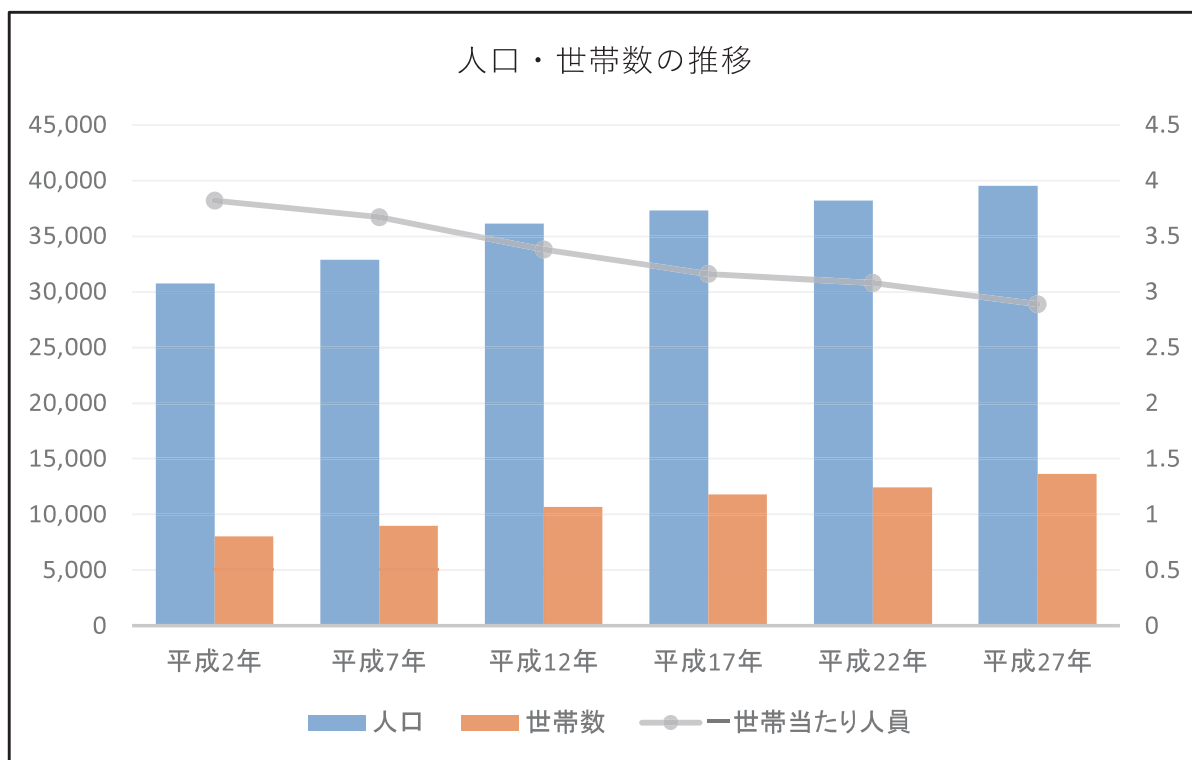
●人口・世帯数の推移

国勢調査における読谷村の人口は平成27年現在39,504人となっています。過去からの推移をみると平成2年以降は増加傾向にあります。

世帯数は、平成27年現在13,658世帯となっています。過去からの推移をみると、平成2年から平成27年の25年間に5,613世帯増加しています。

一世帯あたり人員は、平成2年の3.82人から年々減少し、平成27年には2.89人となっており、25年間で0.93人の減少となっています。

	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
人口	30,750	32,912	36,115	37,306	38,200	39,504
世帯数	8,045	8,965	10,699	11,803	12,422	13,658
一世帯あたり人員	3.82	3.67	3.38	3.16	3.08	2.89
人口増加率	7.8%	7.0%	9.7%	3.3%	2.4%	3.4%
世帯増加率	16.8%	11.4%	19.3%	10.3%	5.2%	10.0%



資料：国勢調査

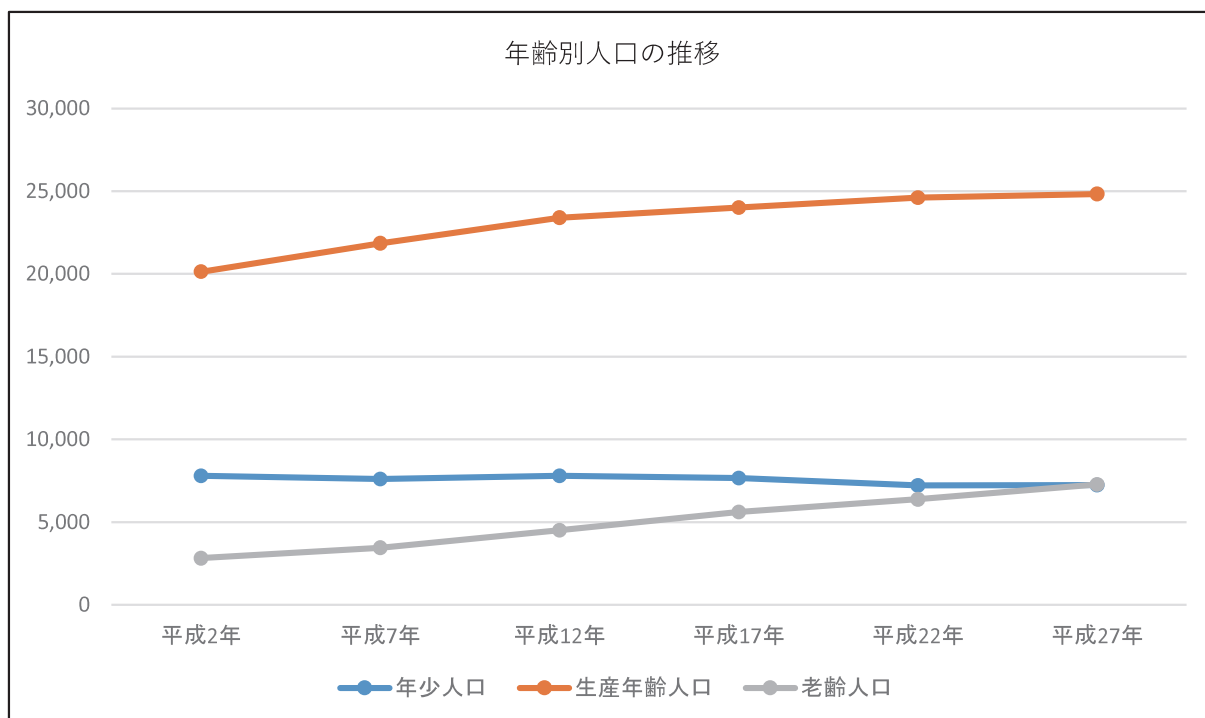
## ●年齢別人口

平成27年の読谷村における年齢別人口は、年少人口（0～14歳）7,229人（18.4%）、生産年齢人口（15～64歳）24,832人（63.1%）、高齢人口（65歳以上）7,281人（18.5%）となっています。

平成2年からの推移をみると、年少人口は平成2年から平成27年までの25年間で564人減少しています。生産年齢人口は年々増加傾向にあり、平成2年から平成27年までの25年間で4,701人増加しています。また、高齢人口も年々増加傾向にあり、平成2年から平成27年までの25年間で4,455人増加しています。

平成27年の構成比を沖縄県（平成27年）と比較すると、高齢人口は1.1ポイント沖縄県より低く、年少人口は1ポイント、生産人口は0.2ポイント沖縄県より高く、沖縄県平均より年少、生産年齢人口が多いという結果がうかがえます。

		平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	沖縄県H27
年少人口 (0～14歳)	実数	7,793	7,607	7,793	7,670	7,215	7,229	247,206
	構成比	25.3	23.1	21.8	20.5	18.8	18.4	17.4
	増減率	-3.2	-2.4	2.4	-1.5	-5.9	0.2	-
生産年齢人口 (15～64歳)	実数	20,131	21,848	23,392	24,011	24,609	24,832	892,109
	構成比	65.5	66.4	65.5	64.3	64.4	63.1	62.9
	増減率	11.4	8.5	7.0	2.6	2.5	0.9	-
高齢人口 (65歳以上)	実数	2,826	3,457	4,522	5,611	6,370	7,281	278,337
	構成比	9.2	10.5	12.6	15.0	16.6	18.5	19.6
	増減率	17.2	22.3	30.8	24.0	13.5	14.3	-
合計		30,750	32,912	35,707	37,292	38,194	39,342	1,417,652



資料：国勢調査

●対象施設周辺の土地区画整理事業

小学校（古堅南小学校・古堅小学校）の学校区内では現在2つの土地区画整理事業に着手しており、計画人口が合計3,670人、うち8割（2,936人）を村外からの転入と見込んでいます。その中の小学生（6～12歳）人口を対象の学校区である古堅南小学校、古堅小学校に割り振って加算し、将来児童数を検討する必要があります。

以下に古堅南小学校区の土地区画整理事業の概要を整理します。

読谷村大湾東土地区画整理事業

事業概要

事業の目的	本地区で土地区画整理事業を行うことにより、軍用地による歪んだ地域構造を改善し、無秩序な市街化の広がりを抑制するとともに、本村南部地域の都市機能の集約化及び健全な市街化形成を図ることを目的とする。
事業期間	平成21年12月11日～平成31年3月31日
施行地区	読谷村字比謝比謝原、字比謝後原、字比謝長佐久原、字大湾亀地原、座大湾田小根原、字大湾東原、字比謝砦比謝砦原の各一部
施行面積	約26.5ヘクタール
人口計画	地区将来人口：2,080名 将来計画戸数：650戸 将来平均世帯構成数：3.2人/戸 宅地面積：162,000㎡（平均宅地規模：250㎡）
道路計画	地区の幹線街路として3・4・読5号比謝大湾線、3・4・読6号大湾東線の2本を配置する。また、幹線街路からの段階構成を考慮した区画道路（12m～6m）や、歩行者の利便性、快適性を考慮した歩行者専用道路（6m～4m）を適宜配置する。
小学校区	古堅南小学校

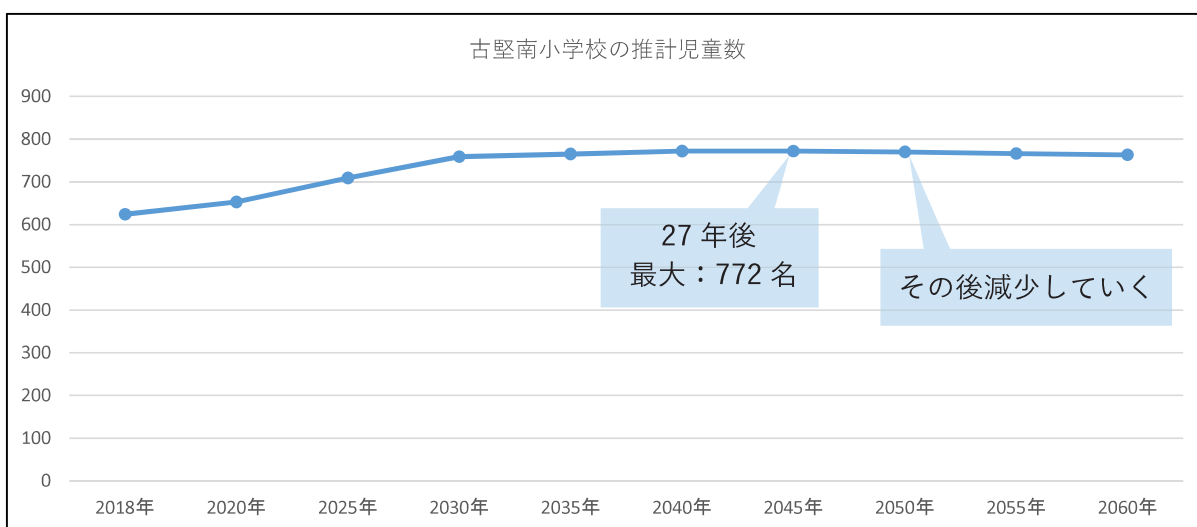
資料：小学校校舎改築等準備計画を参照に作成

●対象施設周辺の土地区画整理事業

ここでは、基本計画に先立ち行われた小学校校舎改築等準備計画にて検討が行われた児童数推計の結果を記載します。

将来児童数の推計手順としては「読谷村人口ビジョン」「2015 国勢調査」の結果から各年度の児童数の算出を行い、さらに前頁記載の「土地区画整理事業による人口増加分」を加算し、最終的な将来児童数を算出しています。

西暦	2018年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
児童数	624	653	709	759	765	772	772	770	766	763



資料：小学校校舎改築等準備計画を参照に作成



2020年		2045年	
児童数	普通学級数	児童数	普通学級数
653	21	772	24

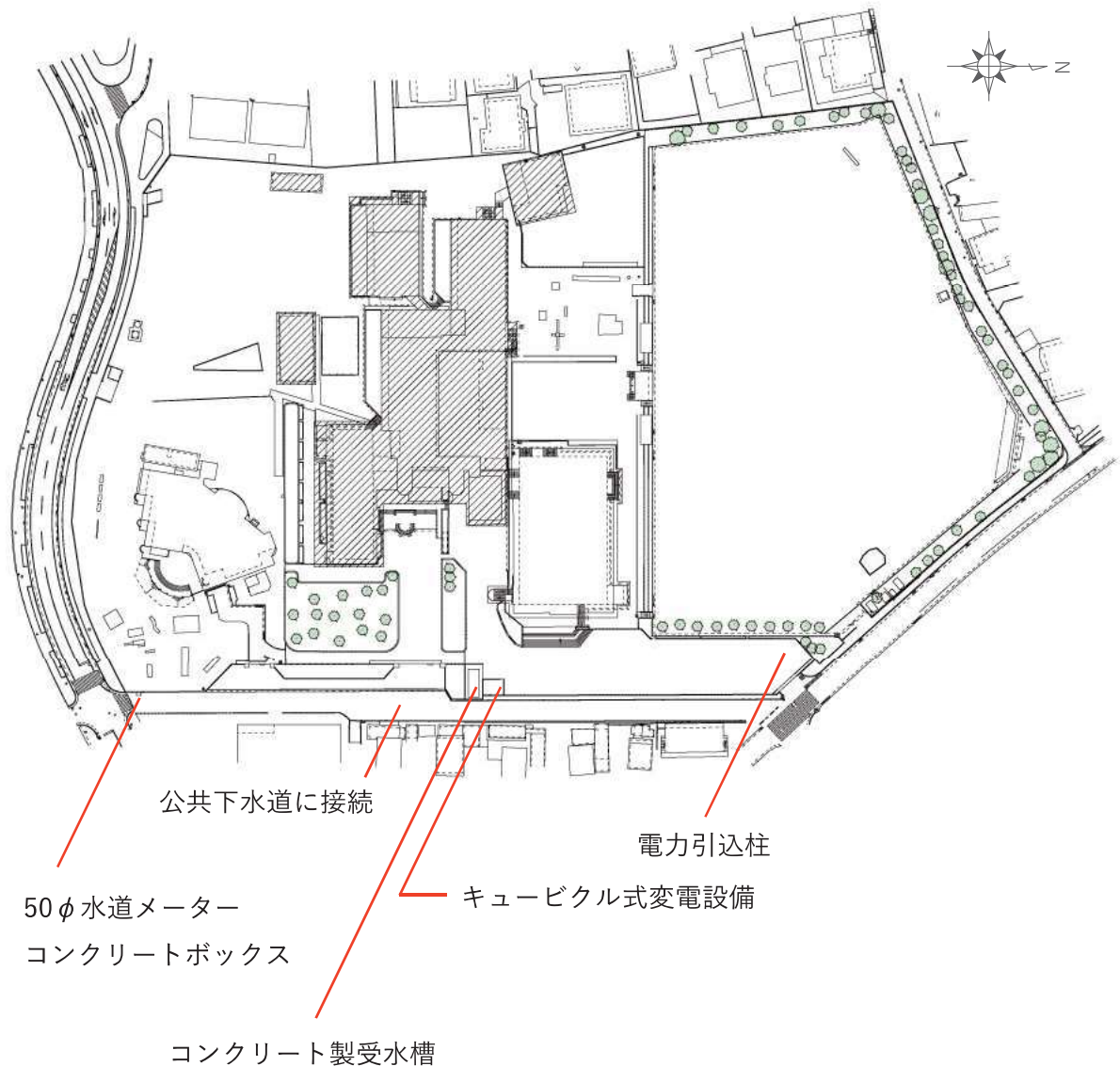
児童数 +119 名  
学級数 +3 学級

本推計による児童数のピークは 2045 年となっており、基本計画年（2018 年現在：624 名）に対し 772 名と 148 名の増加が見込まれます。それに伴い、学級数の最大は 24 クラス（普通教室）となっています。

以上の結果から、本計画では 24 クラスにて教室数の計画を行うこととします。

### 3. 本計画地の現況及び基礎データ

#### (1) インフラ整備状況（電気・給水・汚水・雨水排水）

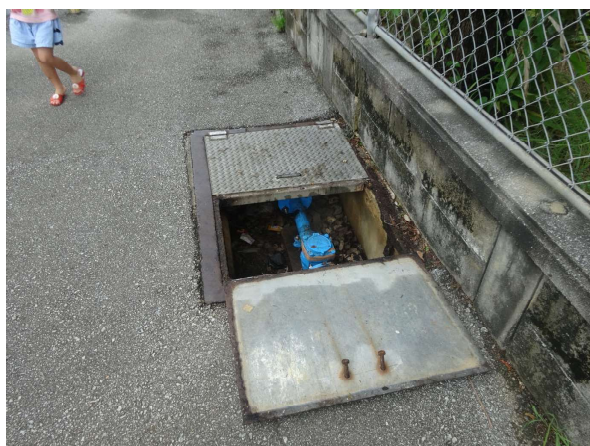


#### ●排水（汚水）について

現在、公共下水道に接続されているため、校舎を建て替える際は既存の排水設備に接続する計画とします。必要に応じて変更する場合は既存の柵を移設する計画とします。

#### ●雨水排水について

現在、校内敷地からの雨水排水が道路側へ流出する事があるため、実施設計においては校外への排水の流出等がないよう、十分に考慮し計画する必要があります。



水道メーター



受水槽



キュービクル



電力引込柱



(2) 動線状況

●児童、園児動線（登下校）

・正門はハイビスカス通りに面しているため、歩車分離となっており、隣接する児童館へのアプローチも安全に行えます。

・学校職員へのヒアリングによると、比較的県道側からの登下校が多いようです。

●車両動線

・現在、敷地東側に駐車場（55 台）があり、出入口が横断歩道と交差しているため危険な状況です。

・県道側から敷地内へ入り、教材園横のスペースも駐車スペースとして利用している状況です。

●配膳車両動線

・昇降口横が給食配膳室となっているため児童との交錯が起こりやすく危険な状況です。

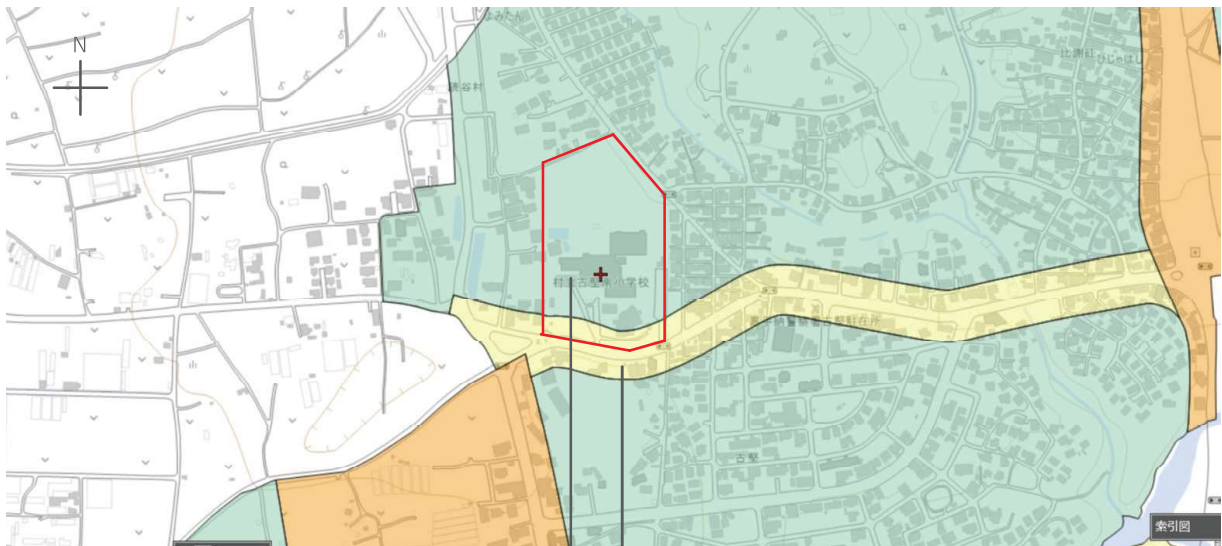




### (3) 用途地域

#### ●用途地域と主な法規制

- ・ 第一種低層住居専用地域 及び 第一種住居地域
- ・ 建ぺい率 50% / 60%
- ・ 容積率 100% / 200%
- ・ 道路斜線制限 適用距離 20m 斜線勾配 1.25
- ・ 隣地斜線制限 立上り 20m 勾配 1.25
- ・ 北側斜線制限 立上り 5m 勾配 1.25
- ・ 第一種低層住居専用地域内の絶対高さ制限 10m



資料：沖縄県地図情報システム

第一種住居地域  
(建ぺい率：60%／容積率：200%)

第一種低層住居専用地域  
(建ぺい率：50%／容積率：100%)

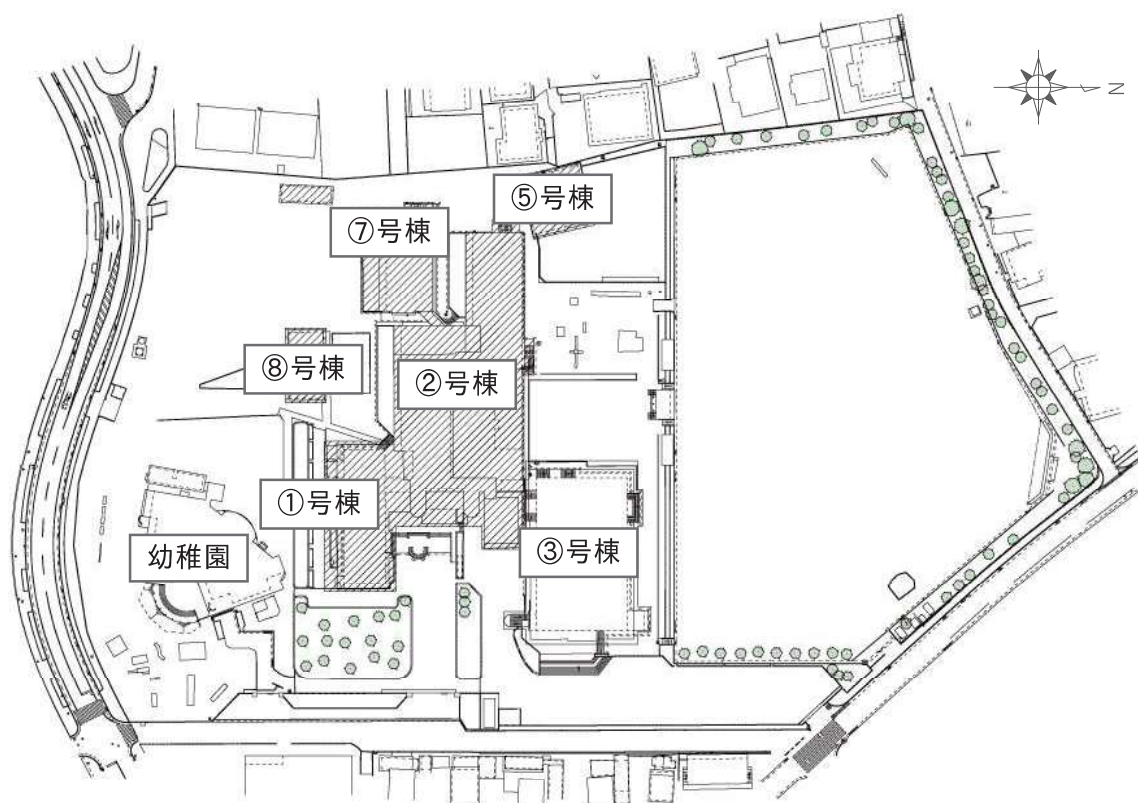
#### (4) 既設建築物現況調査

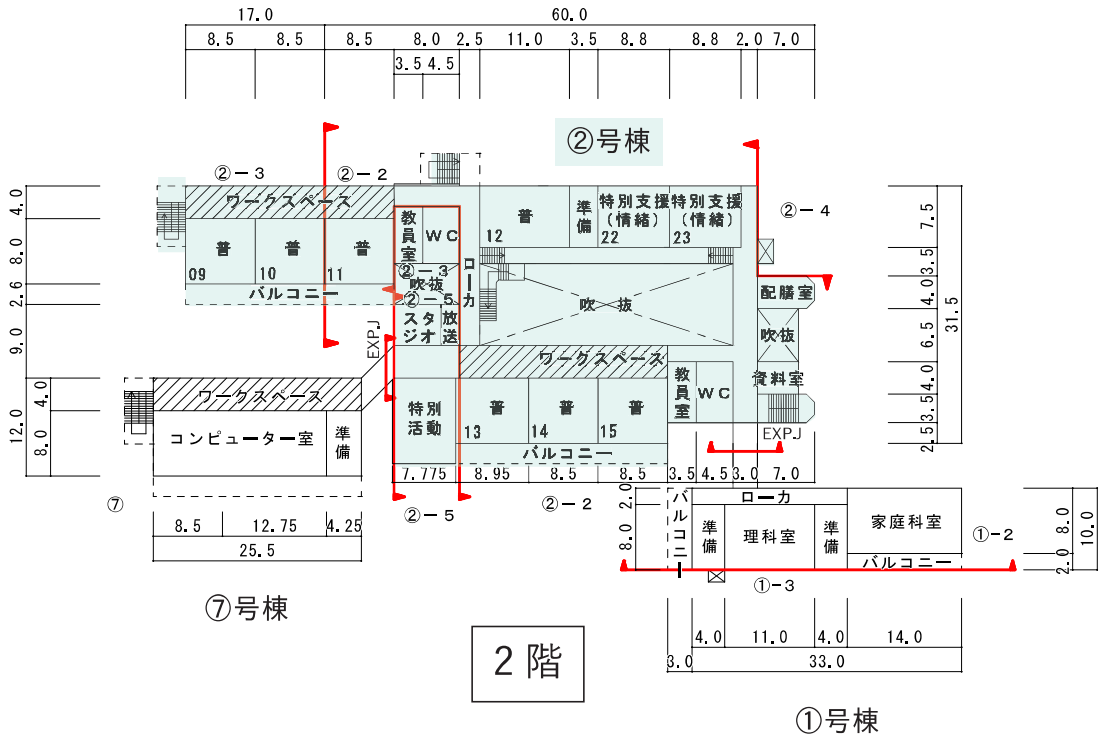
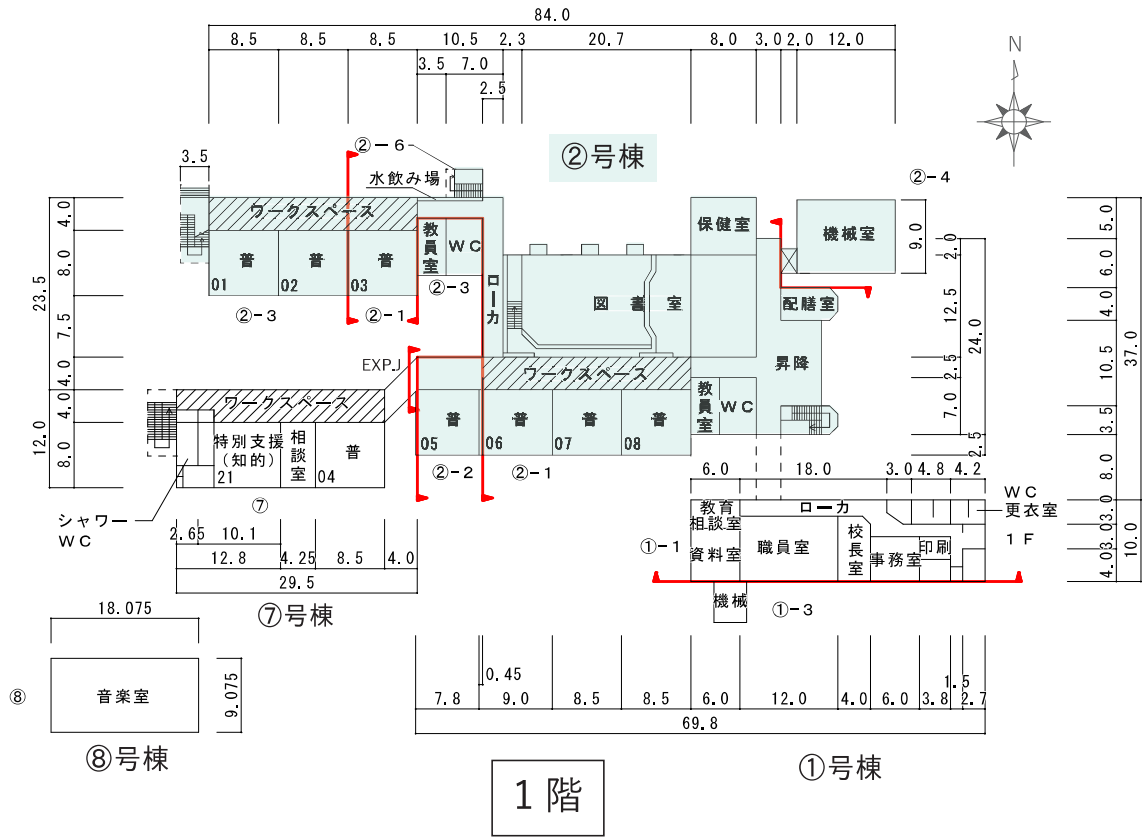
本計画での建替え対象建物は①管理棟、②普通教室棟、⑤プール管理棟、⑦特別教室棟、⑧音楽室となっています。

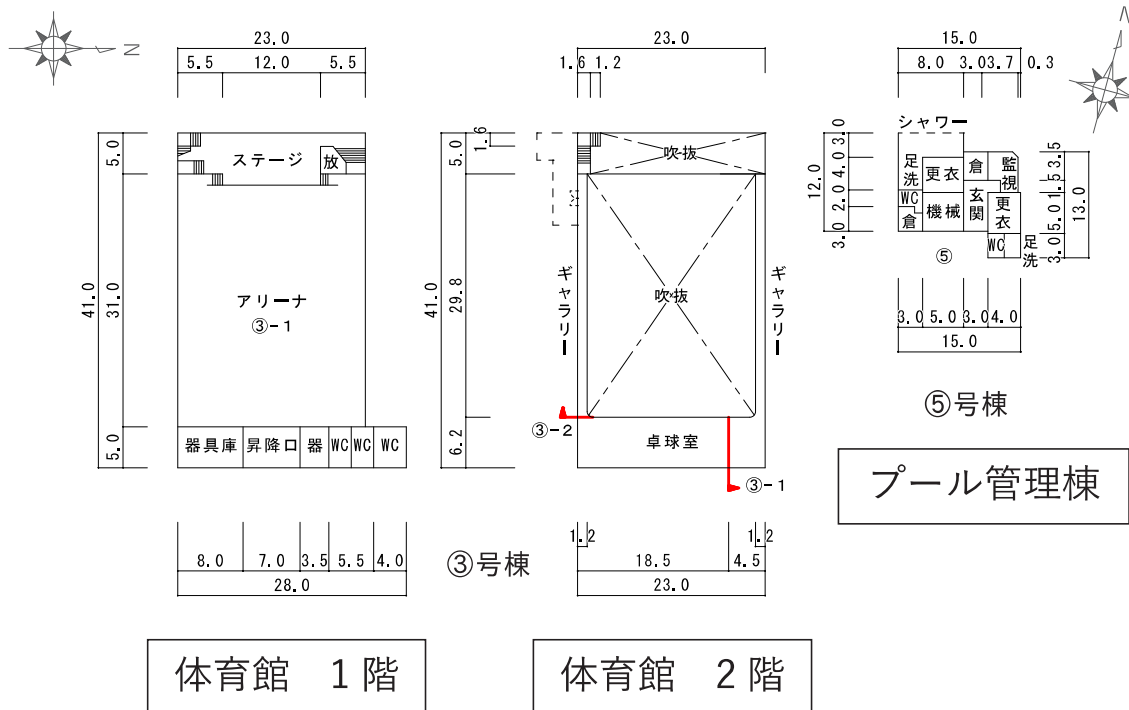
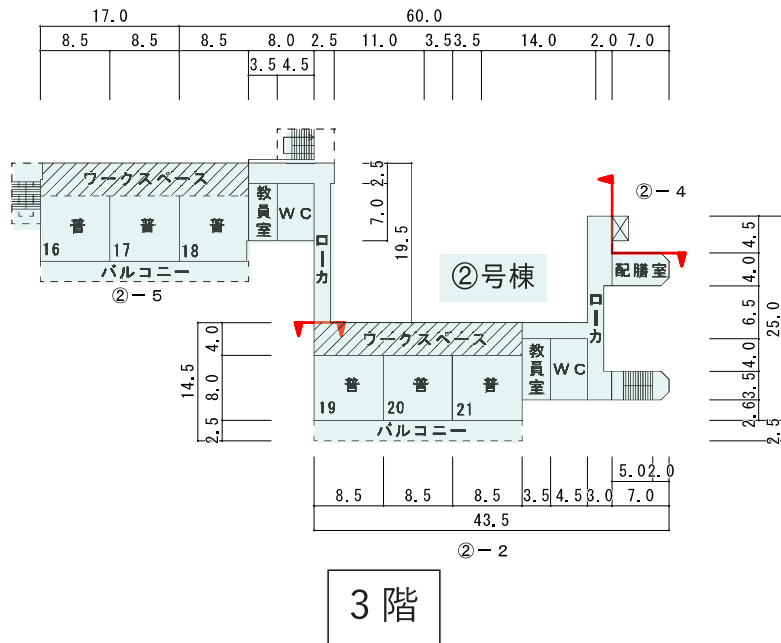
耐力度調査は10,000点満点で算出され、4,500点以下の建物については構造上危険な状態にある建物として国庫補助事業の改築が可能となります。

棟番号	棟名称	竣工年	築年数	保有面積 (㎡)	耐力度調査年	耐力度結果点数
①号棟	管理棟	昭和55年 (1980年)	38	685	平成30年度	4,925
②号棟	普通教室棟	昭和55年 (1980年)	38	3,992	平成29年度	3,344
③号棟	屋内運動場	昭和57年 (1982年)	36	1,192	—	—
⑤号棟	プール管理棟	平成元年 (1989年)	29	147	平成30年度	6,144
⑦号棟	特別教室棟	平成10年 (1998年)	20	542	平成30年度	6,528
⑧号棟	音楽室	平成18年 (2006年)	12	164	—	—

資料：公立学校施設台帳









## 4. 法的条件の整理

### 校舎建築関係法令





法的条件一覧

項目	設定条件	規定	該当法規
道路	南側道路（県道/16号線） 東側道路（村道/大木古堅線） 北側道路（村道/古堅28号線）	道路幅員 9,000m ~ 23,000m 道路幅員 6,000m ~ 11,800m 道路幅員 4,000m	法42条
用途地域	都市計画区域 建ぺい率 容積率	第一種低層住居専用地域/第一種住居地域 50%/60% 100%/200%	法48条
その他の地域・地区	防火地域 その他	防火地域指定なし -	法61条・62条
特殊建築物の構造制限	学校 ≧ 3階	耐火建築物 (延焼の恐れのある部分に防火設備設置)	法27条 法別表第1
建物の高さ	道路斜線制限 隣地斜線制限 北側斜線制限 日影制限	適用距離20m 斜線勾配1.25 立上り20m+勾配(1.25) 立上り5m+勾配(1.25) 平均地盤面+4m 3h・5h	法56条1項1号 法56条1項2号 法56条1項3号 法56条の2
地階の判定		床面から地盤面までの高さが、その階の1/3以上	令1条1項2号
地階における居室	学校の教室	居室がイ・ロ・ハのいずれかに該当 イ、空地に対する開口部の設置 ロ、令20条の2換気設備の設置 ハ、湿度調整設備の設置	法29条 令22条の2 1項1号
採光	教室 学校の教室以外の居室 音楽室・視聴覚室	床面積1/5以上の開口部 又は、床面積1/7の開口部（照明制限有り） 床面積の1/10以上の開口部 有効な換気設備のある場合1/10	令19条 建告1800号
換気	教室、その他居室	床面積1/20以上の開口部 又は、機械換気設備	法28条2項 令20条の2
天井の高さ	居室	2.1m以上	令21条
界壁	防火上主要な間仕切壁	耐火構造又は準耐火構造 貫通ダクトは防火ダンパー付	令114条 2項・5項
階段	小学校の児童用	階段・踊場幅（屋内） ≧ 140cm 階段・踊場幅（屋外避難用直通） ≧ 90cm 蹴上げ（屋内・外） ≦ 16cm 踏面（屋内・外） ≧ 26cm 踊場の位置 高さ3m以内ごと 直通階段の踊場の踏面 ≧ 120cm	令23条～令27条
直通階段までの歩行距離	主要構造部が耐火構造物若しくは準耐火構造又は不燃材料の場合	≦ 50m 居室、避難路の壁及び天井の室内に面する部分の仕上げが不燃、準不燃の場合 ≦ 60m	令120条
直通階段	5階以下の階で避難階の直上の居室床面積 ≧ 400㎡ その他の階の居室床面積 ≧ 200㎡ (主要構造部が耐火・準耐火又は不燃材料の場合)	2以上の直通階段の設置が必要	令121条 1項六号口
2以上の直通階段の重複距離		歩行距離の1/2を超えてはならない	令121条3項
廊下の幅	小学校、中学校、高等学校の児童用又は生徒用のもの	両側居室 ≧ 2.3m その他 ≧ 1.8m	令119条
屋外への出口	避難階において屋外への出口の一に至る歩行距離	階段からの距離 ≦ 令120条に規定する数値 居室からの距離 ≦ 同条の規定する数値の2倍	令125条

項目	設定条件	規定	該当法規
防火区画	主要構造部が耐火構造で、 スプリンクラー等の自動消火設備が	なし→1,500㎡以内ごとに特定防火設備で面積区画 あり→3,000㎡以内ごとに特定防火設備で面積区画	令112条 1項～4項
	耐火構造で3階以上の吹抜け部分・階段・ 昇降機の昇降路ダクトスペース	準耐火構造の床若しくは壁又は防火設備で区画	令112条9項
耐火性能 (耐火時間)	建築物の部分	最上階及び最上階から数えた階数が 2以上で4以下の階	令107条
	間仕切壁・外壁（耐力壁） 柱・床・梁、延焼の恐れのある外壁 （非耐力壁）	1時間	
	屋根 延焼の恐れのない外壁（非耐力壁）	30分	
内装制限	学校 火気使用室 （主要構造部を耐火構造としたもの）	適用なし	法35条の2 令128条の3の2 令128条の4 令129条
	自動車車庫	その部分、通路の壁及び天井の室内に 面する仕上げを不燃・準不燃とする。	
	排煙上の無窓居室 床面積 > 50㎡ 採光上の無窓居室	居室、避難路の壁及び天井の室内に 面する仕上げを不燃・準不燃とする。	
排煙設備		免除	令126条の2 1項2号
非常用照明設備		免除	令126条の4 1項3号
非常用進入口	高さ31m以下・3階以上	非常用の進入口を設ける	令126条の6
敷地内通路	屋外避難階段及び避難階の屋外への出口 から道又は公園等まで通ずる	通路幅員 ≧ 1.5m	令128条

防火対象物	建物用途	学校 7項（駐車場は従属的用途）	消令6条 消令別表第1
屋内消火栓設備	延べ面積（各用途判定）	7項（一般） 1,400㎡以上 7項（地下） 300㎡以上	消令11条
屋外消火栓設備	延べ面積	1・2階床面積の合計が9,000㎡以上	消令19条
スプリンクラー設備	階数	11階以上の階のみ	消令12条
泡消火設備	用途・階数・床面積	駐車場の用途に供する部分の存する階 地階で200㎡以上	消令13条
消防用水	敷地面積・床面積	敷地面積が20,000㎡以上かつ 床面積が15,000㎡以上	消令27条
消火器具	延べ面積 床面積	7項（一般） 300㎡以上 7項（地下） 50㎡以上	消令10条
自動火災報知設備	延べ面積 床面積	7項（一般） 300㎡以上 7項（地下） 50㎡以上	消令21条
消防機関へ通報する 火災報知設備	延べ面積 （電話の設置があれば免除）	1,000㎡以上	消令23条
誘導灯	階	地階・無窓階・11階以上	消令26条
誘導標識	階	全階（誘導灯設置範囲免除）	
非常警報設備	収容人数・階数	自動火災報知設備設置免除	消令24条
連結散水設備	地階の床面積	700㎡以上	消令28条

## 条件整理

項目	設定条件	規定	該当法規
低層住居専用地域 高さの例外許可	学校その他の建築物	用途によってやむを得ないと認めて 特性行政庁が許可したもの	法55条3項2号
省エネ基準法 適合義務	床面積	2,000㎡以上	建築物 省エネ法
バリアフリー法 基準適合努力義務	学校（特定建築物）	全て	バリアフリー法
開発行為の許可	区域区分非設定	敷地面積 3,000㎡以上	都計法29条 1項1号
沖縄県景観条例 届出	大規模行為 (高さ13m、建築面積1,000㎡)	適用除外（地方公共団体が行う行為）	沖縄県 景観形成条例
沖縄県福祉のまち づくり条例届出	学校等	全て	沖縄県福祉の まちづくり条例
沖縄県赤土等 流出防止条例届出	事業行為面積	1,000㎡以上	沖縄県赤土等 流出防止条例
読谷村 景観計画届出	高さ又は、 建築面積	10mを超えるもの 500㎡を超えるもの	読谷村 景観条例
読谷村土地開発 行為事前調整	開発行為	敷地面積500㎡以上 3000㎡未満	読谷村土地開発 行為適正化条例

## 関係者ヒアリング

基本計画の策定にあたり、小学校児童・職員、関係各課（役場）、地域住民へのヒアリングを行い、たくさんのご意見・ご要望を得ることができました。これらは全て基本計画の参考としています。

また、実施設計にて詳細の検討が必要なご意見等も挙がっていますので、これらのご意見・ご要望は巻末資料としてまとめ、実施設計へ向けた申し送り事項とします。

### 1. 小学校職員ヒアリング

基本計画の策定にあたり、古堅南小学校職員へのヒアリング、アンケートを実施しました。

各担当教諭からの専門的な立場からのご意見や、日々の学校生活を通して「新しい校舎建築」に対する意見・要望を頂くことができました。

### 2. 関係各課ヒアリング

基本計画の策定にあたり、読谷村役場関係各課へのヒアリング、アンケートを実施し、各課の専門的な見解から「新しい校舎建築」に対する意見・要望を頂くことができました。

また、運用面に対する新しい施策、アイデア、そして課題も抽出することができましたので、施設改築計画と併せて、運用に関わる方針の策定が必要となります。

#### 【ヒアリング課一覧】

- |                       |         |                |
|-----------------------|---------|----------------|
| ● 総務部                 | ● 建設整備部 | ● 教育委員会        |
| ・ 総務課                 | ・ 土木建設課 | ・ 教育総務課（学務係）   |
| ● ゆたさむら推進部            | ・ 都市計画課 | ・ 学校指導課        |
| ・ 企画政策課               | ・ 施設整備課 | ・ 生涯学習課（生涯学習係） |
| ● 健康福祉部               | ● 水道課   | ・ 生涯学習課（生活安全係） |
| ・ こども未来課<br>（子育て支援係）  |         | ・ 給食調理場        |
| ・ こども未来課<br>（保育所幼稚園係） |         |                |
| ・ 福祉課                 |         |                |

#### 【本計画事務局】

- ・ 教育総務課（施設係）

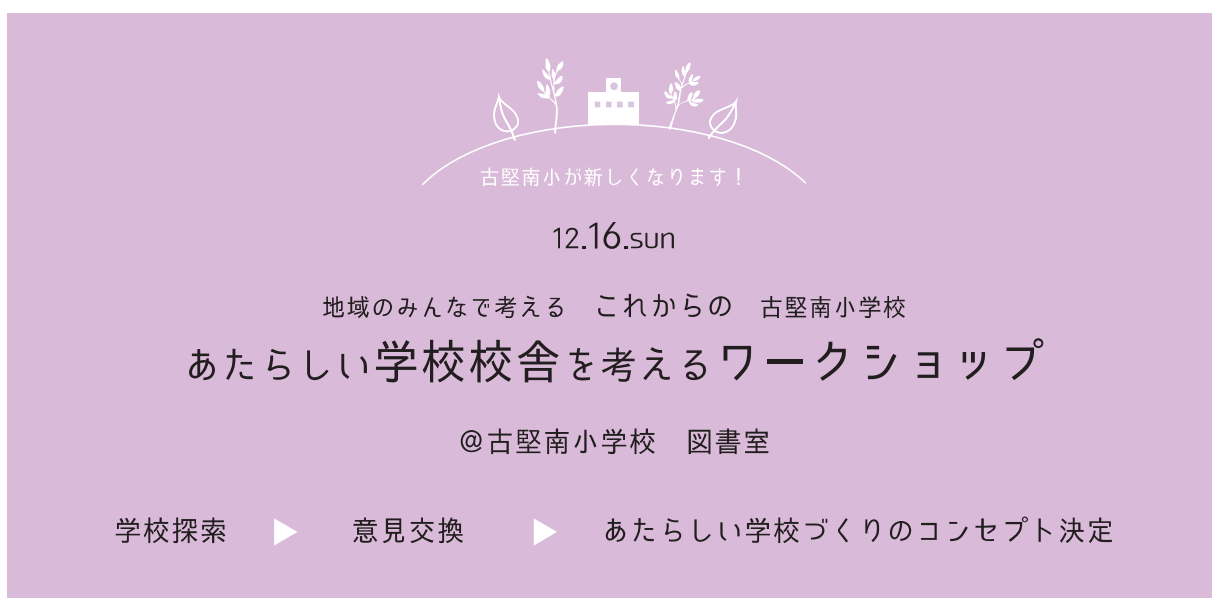
### 3. 地域懇談会

基本計画の策定にあたり、「地域の皆さまと一緒に新しい学校建築を考える」をテーマとした意見交換会を全5回に渡り開催しました。

古堅南小学校の特色や歴史、どんな学校にしていきたいかを話し合い、沢山のご意見を頂くことができました。

#### (1) 第一回地域懇談会 ～ワークショップ～ 平成30年12月16日（日）開催（参加者：26名）

第一回地域懇談会として、古堅南小学校の子どもたちや保護者、学校関係者、地域の方々などから、新しい小学校への期待やご要望、学校づくりに対する“想い”など、また、現存する学校の長所・短所、改善点や問題点などのご意見・ご要望などを広く聴取するため「学校探索ワークショップ」を開催しました。



古堅南小が新しくなります！

12.16.sun

地域のみんで考える これからの 古堅南小学校

## あたらしい学校校舎を考えるワークショップ

@古堅南小学校 図書室

学校探索 ▶ 意見交換 ▶ あたらしい学校づくりのコンセプト決定



チーム編成

- A グループ  
チーム T.T（先生方）
- B グループ  
地域先輩
- C グループ  
38 期児童会（児童代表）
- D グループ  
平成 30 年度執行チーム（PTA）
- E グループ  
つばきの会（自治会、保護者）

当日の様子



チームごとに校舎内外（敷地内）を探索し、気づいた事、要望を付箋に書き集めています



集めた意見を発表し、意見を踏まえて各グループからコンセプト案の発表をして頂きました

チーム T.T（先生方）

「南の森構想計画」

子どもたちが安心・安全に地域や  
自然と共に深い学びができる古堅南小学校

地域先輩

地域のコア

平成 30 年度執行チーム（P T A）

花がいっぱいの緑豊かな学校  
・正門に木々がある

38 期児童会（児童代表）

安全で緑豊かな楽しい学校

- ・安全：学校のせいでケガしないように
- 緑豊かな：学校のよさ
- ・楽しい：楽しかったら学校に行きたくなる

つばきの会（自治会、保護者）

自然を感じ 南っ子と地域の人がつながる  
南のオアシス



あたらしい学校づくりのコンセプト

南の森構想計画 ～自然を感じる南のオアシス、緑豊かな楽しい学校～  
安心・安全に、南っ子と地域の人がつながる “地域のコア”

(2) 第二回地域懇談会 ～新設校視察見学～ 平成 31 年 2 月 21 日（木）開催（参加者：15 名）

新設校見学会として「沖縄市立高原小学校（平成 29 年度竣工）」「北谷町立北谷第二小学校（平成 28 年度竣工）」の新設校 2 校の見学を行いました。各学校の職員、沖縄市、北谷町の教育委員会担当者に校舎を案内していただき、実際の使い勝手のヒアリングや雰囲気などを感じることができました。

見学を通して良かった点、気になった点などをアンケート用紙に記入して頂き、たくさんのご意見を頂くことができました。

沖縄市立高原小学校



明るい図書館



教室と多目的スペース



屋上プールの事例

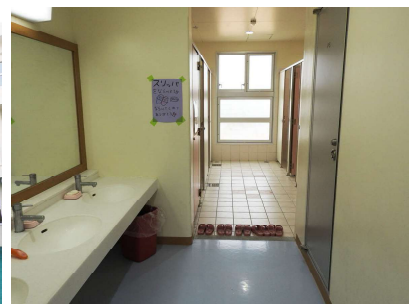
北谷町立北谷第二小学校



明るい図書館



中庭スペース



明るくキレイなトイレ

(3) 第三回地域懇談会 ～ブロックプラン～ 平成 31 年 4 月 24 日（水）開催（参加者：13 名）

これまでのヒアリングを基に A～D 案の 4 つのブロックプラン（配置計画案）を作成し、学校職員、地域の皆さまを交えた意見交換会を行いました。

ここでは、現在の位置への建替え、現校舎とグラウンドを入れ替えた案、南の森、ハイビスカス通りの活用についてなど、図面を見ながら気になった点などをアンケート用紙に記入していただきました。また、質疑応答も行い意見交換を行うことができました。



懇談会の様子

**(4) 第四回地域懇談会 ～ブロックプラン～ 令和元年5月30日（木）開催（参会者：20名）**

第三回地域懇談会にて頂いた意見を基にA～E案の5つのブロックプラン（配置計画案）を提示し、学校職員、地域の皆さまを交えた意見交換会を行いました。

ここでは、グラウンドの粉塵対策や、各案の防犯性、防災面、幼稚園との連携や安全面についてのご意見を多く頂きました。

第四回地域懇談会の最後に、参加者にどの案を推薦するかアンケートを行った結果、「幼稚園との連携がとりやすく安全性が高い」等の評価によりD案が1位となりました。そして、「仮設工校舎が不要で経済性・工期に優れている」等の評価からE案が2位となりました。

また、学校職員へのアンケートの結果は、「動線計画が良いこと、各施設の連携の容易さ」等の評価からB案を推薦するとのことでした。

**(5) 第五回地域懇談会 ～報告会～ 令和元年6月20日（木）開催（参会者：16名）**

第四回地域懇談会にて挙げられた意見を基にA～E案の5つのブロックプラン（配置計画）による一次比較を行い、B案とD案を二次比較対象案として選出しました。

そして、これまで頂いた意見・要望を精査・反映させた最終案（候補）、B案（改）とD案（改）を作成し、二次比較検討を行ったところまでの業務成果を参加者に報告しました。



5回にわたり多くのご意見を頂くことができました。  
ご意見をくださった皆様、ありがとうございました。